

ファッション
One Point
アドバイス

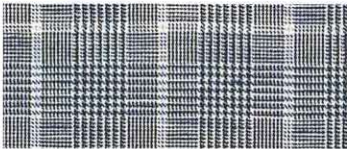
チェック柄の名前を
知っておきましょう

■タータンチェック



タテ、ヨコに太さや色の違う直線を交差させたタータンチェックは、スコットランドの氏族の家柄を表すものでした。スコットランドの代表的な民俗衣装「キルト」の模様です。

■グレンチェック



スコットランドの谷間（グレン）のアーカート地方の伝統的なもの。細かいチェック柄を組み合わせたデザインです。

■ガンクラブチェック



白黒の千鳥格子（ハウンドトゥースチェック）に、茶などの色彩を織り込んだ柄で、アメリカの狩猟クラブで使用されたことからこの名が付けました。ツイードジャケットの柄として親しまれています。

■ギンガムチェック



タテとヨコに濃淡の同じ系統の色の格子が同じ広い幅で単純に交差する柄です。

絵画の中の洗濯風景

聖家族(洗濯場の聖母) La Madonna del Bucato



ルシオ・マッサーリ(1620年頃) ウフィツィ美術館蔵

この絵画は、家事を分担して洗濯物干しを手伝う良心的な父聖ヨセフと汚れた衣類を洗濯する献身的な聖母のイメージが描かれています。

フィレンツェのウフィツィ美術館の解説によると「聖母マリアは洗濯場で衣服を洗い、御子イエスはそれをたらいの中に置き、聖ヨセフはそれを木の枝に掛けています。母と息子が熱心に仕事に取り組んでいる間、聖ヨセフだけは観客に目を向け、まるで仕事に参加するよう誘っているようにみえます。」とあります。

聖家族が互いを思いやりながら家事に協力する姿の尊さと、汚れものを清めるということの神聖な行為を観る人に語り掛けています。

HD NEWS 2024年9月25日隔月発行 第20巻第5号通巻117号

暮らし応援ニューズレター

HomeDry News

ホームドライニュース No.117



●絵画の中の洗濯風景：聖家族(洗濯場の聖母)

●ファッションアドバイス

チェック柄の名前を知っておきましょう

●繊維と服飾の物語：

クリーニングで長く愛着サステナブルファッション！

●なるほど納得！衣生活の知恵

シワや縮みを少なくする洗濯のちょっとした知恵

まごころクリーニング
ホームドライ ホームドライ

繊維と服飾の物語



クリーニングで長く愛着 サステナブルファッション！

今年も、猛暑など異常気象が続いています。温暖化など地球環境は、世界中の人が取り組まなければならない大きな問題になっています。

また、毎年のように気捨てられるファストファッションなどの大量消費は、資源とエネルギー消費、CO₂の排出など大きな環境負荷となっていることに世界中が注目しています。

平均すると1日あたり
大型トラック約130台分の服が
焼却・埋立処分されています。



日本の家庭で廃棄される服は、
年間約48万トン。
廃棄量の削減が課題です。

環境省サステナブルファッションHPより



日本でも環境省や消費者庁が、「サステナブルファッション」というテーマで、衣服を持続可能なアイテムとして、大切に長く着続けるよう提唱しています。その実際として生活者の皆様には次のように呼び掛けています。（以下環境省HPより転載）

- ①今持っている服を長く大切に着よう。
 - ▶1着との長いお付き合いを
 - ▶お直しやリペアなど手を加えて愛着倍増へ
- ②リユース(再利用)でファッションを楽しもう。
 - ▶セカンドハンド(古着)で何度でも楽しもう
- ③先のことを考えて買おう。
 - ▶本当に必要か見極めよう
 - ▶長く着られる品質を選ぼう
- ④作られ方をしっかり見よう。
 - ▶衣服の素材や生産ルート、環境影響を確認しよう
 - ▶再生素材などサステナブルな素材の商品を見つけよう
- ⑤服を資源として再利用しよう
 - ▶古着を店舗に持ち込もう
 - ▶古着を資源として回収に出そう

クリーニングを繰り返して、1着の服を清潔に保ちながら末永く持続可能にしましょう。虫食いなどがあつたり、色あせたりした部分があつても染め替えをするなど、専門店で頼んで補修して着ましょう。

環境省ではアパレル企業に対しても、高品質で長く着られる丁寧な服作りをするように、また店頭回収の推進などを提言しています。



ユニクロ店頭に設置された資源回収ボックス



シワや縮みを少なくする 洗濯のちょっとした知恵

下着やTシャツは、汗を大量に吸収してくれますから、頻繁に洗濯しなくてはなりません。でも、シワや縮みがどうしても気になりますよね。



下着やTシャツを洗う時、脱水を強くすると「シボリジワ」がついて、乾燥してもそのままシワだらけになってしまいます。脱水時間を1～2分程度短めにするだけでシワは弱くなります。オシャレなTシャツがちょっと汗に濡れただけなら、風呂場でハンガーに吊るして裏表にシャワーをかけるだけでも、塩分などの汗の主成分は落ちます。そのまま吊るせばシワにもなりません。

綿や麻などの吸水性の高い繊維は、カラカラに乾燥する時にギュッと縮むという傾向がありますので、乾燥機を使用する時は生乾き程度でストップ、後は風通しの良いところで陰干しすると、縮みを少なくすることができます。